

加太小学校だより



2023年
2月7日
No.20



<http://www.kameyama-mie.jp/kblog/kabuto/>

令和4年度学校評価アンケートの集計結果

昨年末には加太小学校の教育活動に関する学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。各設問の結果及びご意見やご指摘もふまえて何度も教職員で分析と検討を重ねました。児童の皆さん、保護者・地域の皆様からいただいた評価を真摯に受け止め、改善策を全教職員で意識しながら、今後さらなる教育活動の充実改善に努めてまいります。今後ともご支援、ご協力の程よろしくお願いたします。

- 児童・保護者アンケートは4段階評価(A:よくあてはまる B:だいたいあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない)
- 地域の方アンケートは5段階評価(A:そう思う B:概ねそう思う C:あまりそう思わない D:そう思わない E:判断できない)
- 児童、保護者、地域の数値は今年度と昨年度の肯定的評価を表します。

【児童】

No.	アンケート項目	今年度	昨年度
1	授業の内容が分かる	93%	97%
2	図書館で借りた本や家にある本を進んで読もうとしている。	86%	77%
3	授業で自分の考えを言うことができる。	79%	91%
4	先生の話や友だちの話をしっかりと聞いている。	100%	94%
5	縦割り班の活動(児童会の行事など)は楽しい。	90%	97%
6	地域での生産体験活動(さつまいも、梅、もち米、自然薯)や、ふるさと学習は楽しい。	100%	100%
7	毎日家で勉強している。(宿題、自主勉強、読書も含める)	97%	97%
8	学校生活が楽しい。	79%	94%
9	掃除や係活動、委員会活動にしっかり取り組んでいる。	97%	100%
10	困ったことや悩んでいることがあれば、だれかに相談できる。	76%	78%
11	友だちを大切に思い、仲良くしている。	100%	100%
12	チャイムを守り、決められた時間を守っている。	97%	88%
13	地域の人や友達や先生に進んであいさつや返事をしている。	90%	94%
14	身の回りの整理整頓を心がけている(遊具の後かたづけも含む)	93%	84%
15	名前を「さん」づけでよんだり、「です、ます」をつけたりして、ていねいな言葉づかいで話している。	97%	84%

【保護者】(27名回答) 【地域】(17名回答：学校運営協議会委員、自治会長、民生児童委員)

No.	アンケート項目	保護者		地域	
		今年度	昨年度	今年度	昨年度
1	学校は、教育方針やコミュニティ・スクールの取組をわかりやすく伝えている。	81%	93%	94%	92%
2	学校は、保護者や地域の声を取り入れて学校づくりを進めている。	67%	93%	88%	92%
3	学校は、保護者や地域の人と連携して子どもを指導している。	***	***	88%	100%
4	学校は、各種行事や授業参観などに保護者や地域の方が参加しやすいように工夫をしている。	93%	100%	94%	100%
★ 5	学校は、校舎内外の施設設備の整備に努め、安全で整った環境をつくっている。	89%	86%	76%	85%
6	学校は、家庭訪問や電話連絡、たよりなどにより家庭との連絡・連携を密に行っている。	93%	93%	***	***
7	学校は、一人ひとりに応じた分かる授業を行っている。	74%	97%	***	***
8	学校は、一人ひとりの個性を尊重した仲間づくりに努めている。	78%	90%	77%	92%
9	学校は、子どもたちの相談や悩みをしっかりと聞いて、適切に指導・対応している。	74%	97%	***	***
10	学校は、モラルやルールを大切にされた指導を行っている。	82%	86%	88%	92%
11	学校は、子どもの努力や成果を適切に評価している。	93%	100%	***	***
12	学校が進めているふるさと学習(地域探検・歴史・暮らし等)は有意義である。	85%	100%	94%	100%
13	学校が進めている生産体験活動(さつまいも、梅、もち米、自然薯)は有意義である。	85%	93%	94%	100%
★ 14	子どもたちは、楽しく学校生活を送っている。	85%	93%	82%	92%
15	子どもたちは、授業中、真剣に学習に取り組んでいる。	***	***	71%	77%
16	子どもたちは、学校の学習内容を理解している。	81%	93%	***	***
17	子どもたちは、毎日、家庭学習(宿題や自主勉強、読書など)をしている。	85%	83%	***	***
18	子どもたちは、挨拶や返事の習慣が身についている。	74%	66%	82%	100%
19	子どもは、整頓や後片付けの習慣が身についている。	44%	31%	***	***
20	子どもたちは、ていねいな言葉遣いが身についている。	74%	59%	77%	79%
21	子どもたちは、生産体験活動(さつまいも、梅、もち米、自然薯)や川遊びなど、地域の特性を活かした活動を楽しみにしている。(地域の特性を生かした活動に意欲的に取り組んでいる。)	89%	100%	88%	100%
22	家の人は子どもと挨拶を交わしている。	100%	100%	***	***
23	保護者は、子どもが家庭読書や家庭学習をきちんとしているかどうか確認している。	89%	79%	***	***

★印・・・地域アンケートで「判断できない」と回答された方が20%以上ある設問

本年度のアンケート調査における分析と改善点



【児童アンケート結果から】

全15項目のうち、肯定的回答が90%以上となったのは、11項目でした。昨年度からの経年で見ると、「図書館で借りた本や家にある本を進んで読もうとしている」「チャイムを守り、決められた時間を守っている」「ていねいな言葉づかいで話している」の項目で9ポイント以上上がっています。一方で「授業の内容がわかる」の肯定的回答が昨年度から4ポイント低下しています。「授業で自分の考えを言うことができる」「学校生活が楽しい」の項目でも昨年度より12~15ポイント低下しています。また、昨年度と同程度ですが、「困ったことや悩んでいることがあれば、だれかに相談できる」についても肯定的回答が低くなっています。

このことから、日々の授業で誰もが分かる授業づくりを行うこと、児童が互いに関わり合い認め合える居心地のよい学級、自分の考えを安心して話せる学級を作っていくように児童が中心となった活動、児童が主体となり、対話のある学習活動を展開していきます。そして、今以上に児童一人一人の状況や思いをしっかり受け止め、児童に寄り添っていくことが重要だと考えています。

【保護者アンケート結果から】

全21項目のうち、肯定的回答が90%以上となったのは、4項目であり、多くの項目で評価の低下が見られます。特に、「保護者や地域の声を取り入れての学校づくり」「一人ひとりに応じた分かる授業」「子どもたちの相談や悩みをしっかりと聞いて適切に指導・対応」が大きく低下しています。また、「教育方針やコミュニティ・スクールの取組をわかりやすく伝える」「一人ひとりの個性を尊重した仲間づくりに努めている」「ふるさと学習が有意義である」「地域の特性を活かした活動を楽しみにしている」項目でも10ポイント以上低下しました。

このことから、今以上に個々の児童をしっかり見つめ、きめ細かな指導を行っていくこと、授業では、「わかる」「できる」ことを大切にして、授業の中でも個人が認められる等の工夫をすること、学年が上がり内容が高度になっても、理解しやすい授業を心掛けていきます。すべての児童が「分かった」を体感できる授業づくりの研究を更に進めます。

また、コロナ禍でふれ合いが希薄になりがちな今こそ、児童が学校生活を楽しめるように仲間づくりや友だち関係の状況に注視していきます。そして、個々の児童の話や思いを受け止め、日頃から保護者の方との対話を大切にしていくことを重視していきます。ふるさと学習については、現在行っている取り組み内容を見直し、更に有意義な活動となるよう来年度に向けて考えていきます。

【地域アンケートの結果から】

全14項目のうち、肯定的回答が90%以上となったのは、4項目でした。昨年度より、「教育方針やコミュニティ・スクールの取組をわかりやすく伝える」の項目で評価の向上が見られました。その一方で、「保護者や地域の人と連携して子どもを指導している」「一人ひとりの個性を尊重した仲間づくりに努めている」「楽しく学校生活を送っている」「挨拶や返事の習慣が身についている」「地域の特性を生かした活動に意欲的に取り組んでいる」の項目で昨年度より10ポイント以上低下しました。

今後は、児童が充実した学校生活を送れるように全教職員で個々の児童をしっかり見つめ、仲間づくりに励んでいきます。また、児童にとって有意義なふるさと学習が展開できるように学校運営協議会や地域の皆様の力を借りながら地域との連携を大切にしていきます。また、学校の環境整備や授業の様子については「判断できない」との回答を20%以上いただきました。学校での授業や活動の様子が保護者はもちろん、地域の方々にも伝わるよう、学校情報の更なる積極的発信や学校公開の機会確保に引き続き努めていきます。

【アンケートの自由記述から】

コロナ禍対応が過渡期にある今、いろいろなお意見をいただきました。授業づくり、ふるさと学習、タブレット端末を活用した家庭学習、学校のルール、PTA活動や学校教育活動への保護者の参画、地域連携の在り方、地域人材を活用する手立て等についての記述をいただきました。また、児童の成長や学校、教職員に対しての温かいねぎらいの言葉を書いてくださった方もみえました。一方で、学校教育活動を更によくしていくための苦言を呈する自由記述も複数いただきました。いずれも学校運営において貴重なご意見として受け止めさせていただきます。ありがとうございました。